



# 仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会  
会長 中村 孝也  
仙台市青葉区錦町1-3-9  
(市役所錦町庁舎3F)  
電話 022-224-2581  
FAX 022-302-3406

## 活発な 青年部 交流!

### 厚木ユネスコ協会 新宿ユネスコ協会《仙台スタディツアー》

来年の全国大会を控えて、青年部の交流活動が顕著になっています。沖縄全国大会(6月)・酒田東北ブロック大会(10月)への参加を始め、7月の大船渡ユネスコ協会のユースの集いでは及川美聡さんが講演を行って来ました。今回は厚木ユネスコ協会(8月)と新宿ユネスコ協会(9月)の青年部間交流の報告をお届けします。



### 新宿

9月17日～18日に行われた新宿ユネスコ協会主催の宮城・仙台訪問に、青年部も参加しました。



17日は塩釜市浦戸諸島・野々島で津波被害に遭った菜の花畑の再生ボランティアに参加しました。その後、浦戸小・中学校や、隣の桂島などを見て回り、塩釜市の復興について知ることができました。18日は宮城教育大学の見上学長よりESDについてレクチャーを受けた後、車中震災時や復興の話聞きながら、バスで名取市関上地区に向かいました。震災の資料館「関上の記憶」では、動画や実物を通して被災の様子や復興の話を知ることができました。震災前のことを、報道の写真や映像などだけで知れることは限られていて、知っている方の話を通してやっとわかることがとても多いことを感じました。今後は、防災の観点からも、この記憶をどのように繋いでいくかなどを、青年部の中でも考えていきたいと思っています。

(中谷祐太 記)

### 厚木

「仙台っていいところだね!ありがとう!」「まだどこかで会おう!」別れのときにこんな言葉を交わしました。

8月20日、21日、22日の三日間、厚木ユネスコの青年が仙台にスタディツアーにやってきました。

厚木ユネスコの青年達は秋保の二口キャンプ場を拠点に、亶理町で被災地を見学したり、仙台駅前を観光したり、榴岡公園のブーツの娘の像を見学したり、塩釜の仲卸市場で海鮮丼を食べたりと、宮城の歴史や文化や特産品を思いきり味わって帰って行きました。

仙台ユネスコの青年部はスケジュールの合うメンバーが有志で集まり、スタディツアーに同行しました。私は20日の午後から21日の午前まで厚木ユネスコの皆と一緒に行動しました。

防災に関するワークショップをし、被災体験を話すことで、震災での経験を発信していくことの大切さを改めて痛感しました。ユネスコ仲間の輪も広がり、胸が熱くなりました。再会が楽しみです。

(三浦晴信 記)

### 第51回 国際理解に関する弁論大会 高校生の主張コンクール宮城県予選



9月7日(木)仙台白百合学園高等学校で開かれました。発表者は12人で今までで一番少ない人数だそうです。

応募テーマおよび題目がたいへん難しく、国際理解・国際協力に関する内容で、6分以内にまとめて話すこと、学校、家庭、社会などにおける主張者の学習や体験あるいは実践などを踏まえての考えを話すことが決められております。今ユネスコの運動としている、平和・教育・平等・命などの考えがしっかりと盛り込まれ話されていたことに感銘を受けました。

●1位 宮城県知事賞  
仙台二華 西貝茂辰さん

「ジブンゴトがつなげる世界」～今後日本と国際社会は、どのようにして「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の実施に取り組むべきか

●(公社)仙台ユネスコ協会会長賞  
仙台二華 相澤咲希さん

「難民も含めた皆が平等に教育を受けられるように」～あなたが国連事務総長だったら紛争に伴う人道問題をどのように解決するかについて～

### これからの行事と催事

#### ユネスコカレッジ講座

■2016年10月27日(木)・28日(金) ■多賀城方面

#### 秋の新入生勧誘行事

■2016年11月27日 ■秋保体育館

#### 留学生交流会

■2016年12月18日 ■国際センター



#### 第19回「絵で伝えよう!

わたしの町のたからもの」絵画展

■2017年2月14日(火)～17日(金) ■電力ホール

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年(昭和22年)7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。



雲野 祐子

「未来に伝えたい世界遺産～私たちにできること～」

# 2016 民間ユネスコ運動の日

## 記念講演・交流会開催 2016.7.16

### 特別講演

演題

「未来に伝えたい世界遺産～私たちにできること～」

世界遺産検定マイスター 雲野 祐子氏  
(フリーアナウンサー)



仙台ユネスコ協会  
中村 孝也 会長



仙台ユネスコ協会は7月16日、仙台市シルバーセンターにおいて「民間ユネスコ運動の日」記念講演・交流会を会員、青年部そして一般の方々合わせて100余名参加のもと開催しました。

ありがとうございます  
感謝状贈呈

賞状

菅原学園様



仙台ターミナルビル様



松栄不動産様



國分公正様

はじめに「ユネスコ会員綱領」の唱和とユネスコの歌「手に手を取って」を斉唱。開会にあたり中村孝也会長から「仙台・宮城が世界に誇るものは、伊達政宗、東北大学などいろいろありますが、仙台ユネスコ協会もその一つです。民間ユネスコ協会の発祥の地がここ仙台で、来年は誕生して70年。それを記念して全国大会を開催します。ユネスコは、宗教・民族・国家を越えて、教育・科学・文化を通じて世界平和を追求する国連の組織であり、それを支えるのが民間のユネスコ協会であります」との挨拶がありました。

来賓の方々の紹介に引き続き、仙台ユネスコ協会の活動に功労のあった4名の方々に感謝状の贈呈を行いました。仙台ターミナルビル株式会社様、松栄不動産株式会社様、菅原学園様、國分公正様です。そして、宮城教育大学・見上一幸学長が、これまでのユネスコ活動の歴史を大切にしていきたいと、来賓代表の挨拶をされました。

次に、「未来に伝えたい世界遺産～私たちにできること～」と題して、世界遺産検定マイスターの雲野右

子氏の講演がありました。仙台育ちのフリーアナウンサーでもある雲野さんは、世界遺産誕生のきっかけや基礎知識、危機に直面する遺産についてお話されました。そして、世界遺産を大切にする“心”が、自分自身の周りにある大切なものを守る気持ちの芽生えと、その心を育てくれる、これこそが世界遺産の価値であるとし、“心”の重要性を熱心に語りました。

講演の中でも印象深かったのは、かつて仙台ユネスコ協会の発起人の一人が言った、“世界遺産は、地球の記録というべきもので、まさに地球の品位を守る営みである”という言葉は、世界遺産の普及活動の道しるべでもあり、ユネスコ活動の役割の重要性を再認識させられる講演となりました。

最後に、青年部を代表して浅場理佳さんから、これまでおこなってきた青年部活動の報告がありました。当協会の青年部は、ユネスコ青年全国大会2015・2016にて2年連続で「青年優秀賞」を受賞しています。

記念講演後は、お弁当とお茶で交流会が行われました。(副編集委員長 小泉知加子 記)



# 7～10月の活動実績



## ●2016/8/11～13 第2回宮城ユネスコ子どもキャンプ



8月11～13日で第2回宮城ユネスコ子どもキャンプが行われました。昨年に続き今年も開催できたことは、多方面からのご支援とご協力をいただいたおかげです。この場を借りて、心から感謝申し上げます。テーマ「聞いて！聞かせて？君の『声』」のもと二泊三日を過ごし、「カレーがおいしかった！」「ウォークラリー一緒にがんばったね」など、様々な声が聞こえてきました。子ども同士の小さなトラブルもありましたが、最終日には子どもたちの間で「三日間楽しかったね」「また一緒に遊ぼうね」と互いに声を掛け合う姿が見られ、

私たちがテーマに込めた思いを少しは伝えることができたのではないかと思います。彼らがこれからも思いやりを持って「聞いて？聞かせて！」くれれば幸いです。

今年は、去年参加した子がまた参加者、さらには青年スタッフとして参加してくれました。この度も、「また来年も参加したい」という声をたくさん聞きました。事業を継続していくことの大切さを強く感じ、来年、再来年と続けられるよう、今後も青年部活動を充実させていきたいと思っています。

（青年部代表 今村優介 記）

## ●2016/10/1～2

### 「若い力とともに学ぼうユネスコの心」 2016東北ブロック・ユネスコ活動研究会山形大会in庄内



鳥海山の雄姿と爽やかな青空に迎えられ、酒田ユネスコ協会主催の東北ブロック大会が10月1日～2日に開催されました。仙台ユネスコ協会からは役員7名と青年部員5名が参加し、ユネスコ活動の意義・課題などの研修と、来年の全国大会へのPRを兼ねた活発な交流を行ってきました。

特に今回は青年部前代表及川美聡さんがパネラーとして参加しましたので、その報告を続してお伝えします。



パネラー  
青年部 前代表 及川美聡さん

みなさまいつもお世話になっております。及川と申します。東北プロ研でパネラー

という大役に、大変緊張しながら参加しましたが、会場の皆様が温かく迎えて下さり無事終えることができました。仙台の青年活動の紹介をさせていただくことになり、改めてこれまでの活動を振り返りましたが、本当に多くの方々に支えられていることを実感する機会となりました。今後仙台だけでなく、東北全体として青年活動が活性化していくようまた頑張りたいと思います。皆様ありがとうございました。

●2016/7/16  
**「日本ESD学会(仮称)設立のための第2回意見交換会**



奈良教育大学前学  
 長長友恒人氏



7月16日、宮城教育大学で開催された「日本ESD学会(仮称)設立のための第2回意見交換会」に、第3委員会副委員長：川村、専務理事：千田、理事：内藤の3名が参加しました。

DESD(持続可能な開発のための教育の10年)が最終年(2014)を迎えた後、GAP(グローバル・アクション・プログラム)の方向性に基づいた新たなESDの展開が必要になり、学会設立に向けた動きが具体化しました。実践者と研究者が対等の立場で切磋琢磨する学会をという基本方針が示されたことで、参加者は大学関係者の他、ESD活動支援センター(文科省と環境省設置)、民間サイドESD支援団体、気仙沼市元及び前教育長など多彩な顔ぶれとなりました。

奈良教育大学長友恒人前学長による経過報告、宮城教育大学見上一幸学長による国内のESDの動向報告、東京大学の及川幸彦氏によるレクチャーの後、学会の目指す方向性と活動内容の2つの視点で意見交換が行なわれました。

仙台ユネスコ協会は、実践者の立場での参加の声かけをいただきましたが、今後のかわりかたについて前向きな検討が必要と感じました。(理事 内藤恵子 記)

●2016/8/7  
**秋田ユネスコ会長来館**



仙台七夕で賑わう  
 8月7日(日)、秋田ユネスコ協会の佐藤会長が事務所を訪れました。昨年の東北ブロック大会は秋田主催で、仙台から沢山の役員・会員が参加

しお世話になりました。

今回は仙台ユネスコ会館移転後の様子をご覧になるための訪問でした。子どもキャンプの準備に集まっていた青年部員と歓談しお帰りになりましたが、仙台ユネスコ協会の現況をご覧いただく事が出来たと思っております。(加藤幸子 記)

●2016/8/22  
**宮城県ユネスコ連盟協議会の役員会開催**

8月22日(月)13時から気仙沼市のキングスタウンで宮城県4協会の会長以下関係者が出席。

佐藤会長の挨拶の後、2015年度事業報告・決算報告と2016年度事業計画・収支予算が承認されました。

その後、2017年7月15～16日に開催する「日本ユネスコ運動全国大会」の検討状況の説明と実施に当たっての協力要請が「仙ユ協」からありました。なお、連盟協議会の役員としては「仙ユ協」からは中村会長・阿部副会長・千田専務理事が登録されました。(中村 記)

**楽しかった  
 暑気払い会**

8月18日、伊達の牛タン本舗で暑気払いを行いました。今年の役員50人のうち、参加者は25人、そして新会員の方もおいで下さいましたので全員で30人になりました。

皆さんと全国大会のお話を伺うことができ、予定通り開催に向けて進行具合を知ることができました。

今回初めて参加される方が多かったので、自己紹介や自己PRをしていただきました。経営者の方が多く、また趣味に

人生をかけているような方が多いことに驚きました。このような方々とお知り合いになることができ、大変うれしく感激しました。「来年の全国大会は成功する!!」と確信することができました。

今年は特に暑いので、冷たいビールや冷酒をたいへん美味しくいただくことができました。牛タン料理を食べながら、とても楽しくて帰りたくない!と思う、夜のひと時を過ごさせていただきました。

(副会長 阿部さか江 記)

**“11枚の書きそんじハガキでひとりかひと月学校に”  
 ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。**

書きそんじした郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった52(50)円ハガキは1枚につき47(45)円の募金に替えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりかひと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

**会員募集 あなたも参加しませんか!**

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

**仙台ユネスコ協会 会員数**

団体会員	107
個人会員	182
青年部会員	15
合計	304

(2016.10.14現在)

**【編集委員】**  
 千葉雅保 小泉知加子 兼平敏子  
 伊達洋子 山田武彦 富田義雄  
 菅原京子 黄海富寿雄 佐藤高記  
 戸室輝信 林 健一 佐藤 信  
 早川麻由理

**【編集後記】**  
 会報「仙台ユネスコ」452号をお届けします。8月から10月の行事も盛り沢山。青年部の活動が活発です。  
 来年は仙台ユネスコ協会70周年が開催されます。会報でも大会に向けて着々と準備が進んでいくよう情報を共有しながら発信していきます。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。  
 (副編集委員長 小泉知加子)